

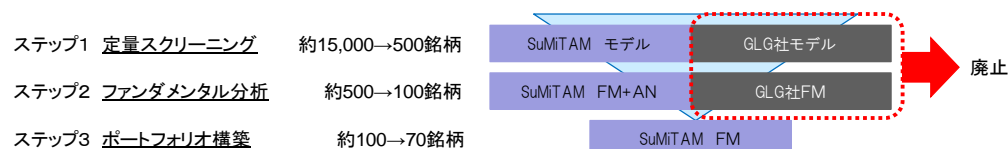
【ご案内】 外国株式E56:GLG社からSuMiTAMに対する投資助言の終了について ／ファンド併合について

■外国株式E56:GLG社からSuMiTAMに対する投資助言の終了について

年投(総)E56(オールカントリー型)では、三井住友トラスト・アセットマネジメント(以下、SuMiTAM)が、GLG Partners LP社(以下、GLG社)より投資助言を受けて運用を行っておりますが、2019年3月をもってSuMiTAMとGLG社の投資助言契約が終了することとなりました。

【事態概要】

- 本ファンドは、GLG社からの投資助言を受けて2013年3月に運用を開始しました。
- 現在、E56の運用はSuMiTAMに一任していますが、人員拡充やリサーチ体制のグローバル化(香港現地法人の新設等)により、体制面での整備が十分になされています。
- 上記の状況を踏まえて、今後はGLG社より提供を受けている定量スクリーニングおよびファンダメンタル分析を、SuMiTAMで自己完結できる運営への移行を予定しており、SuMiTAMとGLG社の投資助言契約を終了するものです。
- なお、運用哲学・運用プロセスは変更ございません。



【商品概要書の変更内容(予定)】

	商品内容
～2019年3月	海外有力運用機関の投資助言情報と三井住友トラスト・アセットマネジメントの日本、アジア株リサーチ情報を活用し、超過収益を追求する。
2019年4月～	三井住友トラスト・グループの日本、アジア株リサーチ情報を活用し、超過収益を追求する。

■ファンド併合について

年投(外)E41(グローバル・リサーチ型)(以下、「E41」)につきまして、2019年2月に標準スタイルミックスへの組入れを終了するとともに、2019年3月末をもって、アバディーン・スタンダード・インベストメンツ社と三井住友トラスト・アセットマネジメント社の投資助言契約が終了することとなりました。

これにより、E41でグローバル・リサーチ型の運用スタイルを維持することが困難となることから、E41の運用スタイルを旗艦ファンドであるグローバル・クオンツ型にスタイル変更いたします。この結果、同じグローバル・クオンツ型を運用スタイルとする年投(外)E42(グローバル・クオンツ型)(以下、「E42」)と同様の運用となることから、ファンド規模拡大による運用効率向上を図るべく、E41をE42にファンド併合することと致しました。

併合対象ファンド		
	ファンド名称	運用残高
閉鎖ファンド (被併合)	年投(外)E41(グローバル・リサーチ型)	約244億円
存続ファンド (併合)	年投(外)E42(グローバル・クオンツ型)	約1,093億円

※運用残高:2018年12月末時点

※被併合ファンドE41で保有する資産は、適正時価でE42に併合します。

【実施時期】

ファンド併合の実施につきましては、2019年5月24日を予定しています。